

子育て支援センター 遊びに おいでよ

茨城町子育て支援センターは子育て親子に寄り添い、親子のふれあいと絆を深める活動を行っています。

1月の予定

| | |
|--------|--------------------|
| 8日(火) | ボランティアによるピアノ演奏 |
| 9日(水) | 定期子育て相談 |
| 11日(金) | 第7回子育てサークル「にこちゃんず」 |
| 16日(水) | 読み聞かせ |
| 23日(水) | 『集いの場。TU☆NA☆GU』 |
| 25日(金) | ボランティアによるピアノ演奏 |
| 29日(火) | お楽しみシアター |
| 31日(木) | ボランティアと遊ぼう |

ボランティアと遊ぼう

31日(木) 午前11時～11時30分

今月は短い時間となりますが、たくさんのボランティアの方々が遊びに来てくれます。一緒に手遊びをしたり、おしゃべりしたりして地域の方々とお話しをしましょう。

子育てセミナー

『集いの場。TU☆NA☆GU』
～つながる・なかま・ぐちこぼし～

対象：平成28年4月2日以降に生まれた子どもとその保護者及び妊婦

日時：23日(水) 午前10時30分～11時30分

場所：茨城町総合福祉センター「ゆうゆう館」健診室
持ち物：バスタオル、水分補給用の飲み物、靴入れの袋
オムツ替え用シート(代用の物でも可)

内容：自己紹介、親子ふれあい遊び、交流会

子育てに限らず、情報交換をしたり、なんでも気軽に話したりできる場です。妊婦さんやパパさんの参加も大歓迎です。

読み聞かせ

毎月第1・3水曜日

時間：午前11時～11時15分

場所：まんまる一む(遊戯室)

子育てボランティアが絵本や紙芝居の読み聞かせに来てくれます。親子でゆったりとお話の世界を楽しみましょう。

ゆうゆう館 まんまる一む(遊戯室)を開放

日曜祝日、年末年始を除き午前9時から午後5時まで、未就学児とその保護者はどなたでも利用できます。

ボランティアの皆さんのご協力をいただいておりますので、小さいお子さんやきょうだいと一緒に、安心して活動に参加できます。

—— 未就学児とその保護者が対象となります。 詳細はお問い合わせください。 ——

【問合せ先】 こども課 子育て支援センター ☎ 029-291-0980 (直通)
茨城町総合福祉センター 「ゆうゆう館」 内

年始の開放について

平成31年は1月7日(月)より、まんまる一む(遊戯室)を通常開放します。

子育てサークル 『にこちゃんず』活動中

平成28年度生まれの8組のお子さんと保護者のサークルです。ゆうゆう館や戸外などで、おしゃべりしたり、お出かけしたり、遊んだりしています。子どもたちもだいぶ慣れて、「おともだち」意識が芽生えてきた様子。4月からの自立に向けて、子育て支援センター職員が活動をサポートしています。



今年度の主な活動

交流会、新聞紙で遊ぼう!、アスレチックで遊ぼう!
風船で遊ぼう!、消防署見学にいこう! など

参加者の声

- ・ 広いお部屋でたくさんのお友達と遊べてとても楽しかったです。最初は泣いていたのに、途中から笑顔で走り回っていました。
- ・ 新聞紙ビリビリは家ではできないので、とても楽しかったです。
- ・ ちょうど絵本で消防車に興味を持っていたので、実物を間近で見ることができて良かったです。

定期子育て相談

毎月第2水曜日

時間：午前9時30分～11時30分 (都合の良い
時間にどうぞ)

場所：保健センター 健診室

子育てに関する相談をお受けします。内容により保健センター(保健師、管理栄養士)と連携して対応します。身体計測も実施しています。

12/1 (土) 涸沼の自然について学ぶ 茨城町文化協会講演会



茨城町文化協会は、ヒヌマイトトンボの発見者の一人であり、町ふるさと大使の廣瀬誠さんを講師に招き、平成30年度茨城町文化協会講演会を開催。会場の町駒場庁舎には、約100人の参加者が集いました。

廣瀬さんは「身近な自然を“感じる”ヒヌマイトトンボと涸沼の生き物たち」をテーマに、ヒヌマイトトンボを発見した時の状況などを話されました。また、ヒヌマイトトンボは一度にいくつの卵を産むのかという小学生の質問に対し、約200個であると答え、会場からは驚きの声があがりました。

10/30 (火) 迷子になっている認知症の方に出会ったら 長岡地区で声かけ訓練



町では、認知症サポーターの協力のもと、認知症高齢者への対応を学ぶ模擬訓練を長岡地区(前田・矢頭・植農)で実施しました。訓練では、認知症の高齢者に扮した人が決められたコースを歩き、地域住民などが「こんにちは。どこかお出かけですか。」とやさしい表情でゆっくりと声をかけ、警察など関係機関への連絡手順の確認をしました。

参加者は「認知症について理解を深める必要があると思った。」と振り返り、地域で高齢者を見守る意識を深めました。

宝くじコミュニティ助成事業 地域コミュニティ活動の活性化



五里峰区の集落センターは、区の住民の心のふれ合いの場として、豊かで明るく、住みよい理想郷づくりのため、昭和54年に建築され、これまで子ども会や敬老会、三世代交流会等の場として、利活用されてきました。しかし、建築後39年が経過し、建物の老朽化に加え、東日本大震災の影響により、不具合が生じていました。

将来にわたり、集落センターを利活用していくため、この度、宝くじコミュニティ助成事業で、屋根や外壁等の大規模修繕を行いました。

宝くじコミュニティ助成事業は、宝くじの社会貢献事業としてコミュニティ活動に必要な備品や集会所施設の整備等に対して助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実と強化を図り、地域社会の健全な発展と社会福祉の向上に寄与することを目的としています。



修繕を終えた五里峰集落センター



三世代交流会の様子(照明をLED化)